

ジェイテクト・グローバル・コンプライアンス・ホットラインについて

通報 — 一般的事項

レポートの安全性と秘密性

ヒントとベストプラクティス

ジェイテクト・グローバル・コンプライアンス・ホットラインについて

ジェイテクト・グローバル・コンプライアンス・ホットラインとは何ですか？

ジェイテクト・グローバル・コンプライアンス・ホットラインは、従業員が通報を行うためのシステムです。通報内容が「業務に関わること」で、法令、社内規程等に違反する疑いがある場合に利用することができます。

NAVEX について

ジェイテクト・グローバル・コンプライアンス・ホットラインは、NAVEX 社のシステムを利用しています。本システムは、通報者のために作られた、機密性の極めて高いツールです。職場環境の改善のため、通報された職場の不正行為、ハラスメント、その他の違法行為に会社として対応します。

なぜこのホットラインが必要なのでしょうか？

何より大切な従業員の皆様のため、信頼できるコミュニケーションツールがあることは、よりよい職場環境づくりに役立ち、生産性の向上にもつながります。

利用効果の高いツールとして本システムがあることで、当社におけるコンプライアンスを更に徹底することができます。

通報 — 一般的事項

通報はオンライン（インターネット上）や電話で行うことができますか？

はい。このホットラインでは、オンラインまたは電話のどちらでも通報が可能です。

どのような状況を通報すべきでしょうか？

法令、社内ルール等に違反するようなこと、その他、コンプライアンスに関わる心配なことがあれば、ご通報ください。

もし違反行為に気付いたら、上司や人事部に報告すればよいのではないのでしょうか？

可能なときは、直属の上司や管理部門へ報告いただくことが理想です。

ただ、状況によっては、「言いづらい」「報告したら自分の立場が危うくなるのでは…」と報告をためらってしまう場合もあると思います。そのような場合のために、機密性の高いホットラインを準備しています。問題を一人で抱え込まず、匿名でもよいので通報していただきたいと思います。

なぜ私は通報しなければならないのでしょうか？ 通報した人に何かメリットはありますか？

よりよい職場環境で働きたいと、誰もが願っていると思います。その願いを実現するためには、一人ひとりが正しい行動をとる必要があります。もし周りに間違った行動をとる人がいたら、適切な行動をとってもらうために通報を行うことも必要です。そのようにして力を合わせることで、健全で生産的な職場環境を保つことができます。企業の不祥事は、私たちが働く会社の存続を脅かす可能性もあります。

会社の経営陣は、本当に通報してもらいたいと思っているのでしょうか？

はい、経営陣も、会社がより良くなるために、皆さんの協力が必要だと考えています。

皆さんは、良いことも悪いことも、会社の中で起こっていることをより具体的に知っています。問題となりそうなことに一番最初に気づいているのは、あなたかもしれません。一報を入れていただくことで、会社や一緒に働く従業員が受けるダメージを最小限に抑えられる可能性があります。

また、コンプライアンス違反の懸念を伝えることが、企業風土や業績改善のための諸課題の発見にも繋がるかもしれません。

通報内容は誰が見ることになるのでしょうか？

通報内容は、本システムの安全なサーバーに直接入力されます。内容を閲覧できるのは、社内のごく限られた担当者のみで、担当者は、事案の種類や発生場所に基づいて決定されるしくみになっています。

なお、担当者は、通報の機密を最大限に守るための訓練を受けており、機密保持義務を負っています。

このようなホットラインがあると、みんなが周りの人に監視されているような気になっていませんか？

このホットラインは、コンプライアンスを重視する職場づくりに役立ちます。

「これは問題ないのだろうか？」と悩んだときに、アドバイスを求めたり、提案したい内容を伝えたり、心配・不安を伝えるために、活用していただきたいと考えています。よいコミュニケーションは職場においてとても大切なものです。このホットラインは、そのコミュニケーションの一助となると考えています。

また、システムの選定については、慎重な検討のうえ、この NAVAX システムに決定しました。

通報の安全性と秘密性

会社の PC から通報すると、PC から入ったウェブサイトのログが全て記録されるはずですが、このログによって通報者が特定できるのではないのでしょうか。

IP アドレスを含む内部接続ログの作成や保存は行われなため、皆さんの PC と、このシステムを結びつける情報が残ることはありません。

職場のパソコンから通報したくない場合は、職場外(インターネットカフェや友人の家など)のパソコンを使用して、このシステムにアクセスして通報するという選択肢もあります。NAVEX 社のデータによると、業務時間中に行われる通報は 12%未満であり、多くの人が職場外での通報を選んでいきます。

自宅から通報をしても匿名性は守られますか？

自宅から通報した場合も、社外の PC を使って通報した場合も、またどんなインターネットポータルから通報する場合も、安全性・匿名性が守られます。インターネットポータルは訪問者を特定することはありませんし、このシステムは IP アドレスを削除するので、匿名性はしっかりと守られます。

このシステムに入力した情報から、誰が通報したのか、最終的には特定できるのではないかと心配しています。大丈夫なのでしょうか？

このシステムは、匿名性を守ります。

ただし、匿名を希望している場合は、通報内容の中に、自分を特定できるような情報を入れないようにご注意ください。

たとえば、「私の席は、〇〇さんの隣で…」 「33 年間にわたり勤務し…」といった情報は入れないでください。

電話での通報の場合も、秘密は遵守されますか？また、匿名での通報が可能ですか？

はい。電話の場合も、オンラインと同様の情報の提供をお願いします。窓口の担当者が、通報内容をこのサイトに入力します。入力された情報は、オンラインでの通報と同様に、安全性・秘密性が守られます。

通報者が自分であることを明らかにしたい場合はどうすればよいですか？

通報時の入力項目に身元を明記する箇所があるため、詳細を記入ください。

ヒントとベストプラクティス

倫理に反する行為に複数の個人が関与していることを認識していますが、私には関係ありません。そのような場合でも、わざわざ通報すべきなのでしょうか？

当社は、倫理的な行動を推進しています。倫理から外れた行為はその度合いに関係なく、最終的に会社および従業員に影響を及ぼします。最近の企業スキャンダルでは、一見無害な倫理上の過ちが悲惨な結果に至ったという事例も多くあります。

不正行為または倫理違反に気付いたら、通報いただくことが皆さんの義務であると考えてください。

自分が見聞きしたことが行動規範等に違反するかどうか、または非倫理的な行為に関与しているかどうかの確信がありませんが、正しいことではないことは明らかです。私はどうすべきでしょうか？

ぜひ、通報してください。

不確かであるという理由で倫理に反する行為が見逃されるべきではありません。結果的には何もなかったという状況になったとしても、通報していただければと思います。

自分の上司や他の管理職が不正行為に関与している場合、どうすればよいですか？ 取り合ってもらえないのではないのでしょうか。

ジェイテクト・グローバル・コンプライアンス・ホットラインで行われた通報内容は、関与者に通知することはなく、また、通報の対象者として名前が挙げられた者も、通報内容にアクセスすることは許可されません。安心して通報してください。

通報をした後で重要なことを思い出した場合はどうしたらよいですか？ また、通報内容について会社側が私に問合せをしてくる場合、どう対応すればよいのですか？

本システムのトップページより、通報案件の状況等を確認することが可能です。

確認ページへログインする際に、通報時にご自身で設定されたパスワードと、通報後にシステムの画面上に表示される「通報キー」が必要となります。これらは忘れずに記録してください。

確認ページでは、ご自身の通報内容の修正や追加、会社側からの質問の受領・回答などが可能です。

通報内容の確認機能も通報時と同様に安全ですか？

はい、通報時と同様のシステムであり、秘密性・匿名性が保たれます。

通報キーを紛失したり、登録したパスワードを忘れてしまった場合はどうしたらいいですか？

通報内容の機密性を守るため、通報キーあるいはパスワードの再発行はできません。万が一紛失してしまった場合、新たに通報をし直す必要があります。

このような事情で再通報いただく場合、通報内容の詳細記入欄に、以前提出した通報内容と関連している旨を記載してください。

インターネットにアクセスできなくても通報できますか？

インターネットへのアクセスが無いPCからは通報することはできません。PCから通報したくないという場合は、電話での通報をご検討ください。